

ユニコム 通信

Universal
Community

Vol.49

ユニコムかつしか機関誌

<http://uck80.com>

テクノプラザ/パソコン講習会



2面・「テクノプラザのパソコンステーション」

- ・「亀有の盆踊りでうちわ作り」
- ・「エクセル講座」盛況
- ・お知らせ

3面・向う三軒両隣

- ・ふれあい

4面・パソコン・クイズ

- ・総務担当より
- ・編集後記

亀有西五町会の納涼盆踊り大会

新年度の活動状況より

連日の猛暑でいさかかげんなりしていますが、暦の上では、はや立秋です。

4月に各パソコン教室事業ともリニューアルスタート、以来、4か月が過ぎましたが、特に大きな問題もなく順調に推移しているところです。ただ、残念ながら受講者の減少傾向は続いているようです。その一方でウィンドウズ8などへの乗換え、タブレット端末利用へのシフトは確実に進んでいます。すでにこれらの流れへの対策は行っていますが、今後は設備面、講習内容面での充実を図っていく必要があります。また、「暮らしを彩るパソコン教室」では、4月から一部のコースに市販テキストを使用しましたが、帯に短し褌に長し、の面があつて、講師・受講者双方に不満があるようです。やはり、オリジナルのテキストに勝るものはないでしょう。下期から、従来のテキストをバージョンアップして使うことになりました。朝令暮改？ いいえ、過ちを改むるに憚ることなかれ、です。とにかく、やってみよう、やってみよう、やってみよう、やってみよう、がユニコムかつしかのモットーです。そんなモットーがあることを知らなかった…：でしよ？ いま、思いついただけです。でも、変化の激しい時代にはこれまでと同じことを続けていても未来は拓けません。高齢化すると保守的になりがち、との常識？を蹴飛ばし、じゃんじゃん新しい企画に取り組んでいきましょう。

会員のわたしたちもワードやエクセルができればいいという時代ではなくなつてきて、モバイル端末からクラウドまで、ますます幅広い知識と技術を求められます。会の研修会では、Onlineの活用なども企画中であり、NPO法人向けに無償で提供されるOffice365などの導入も検討しているところです。

また、Facebook（以下、FB）利用者の増加も無視できないところから、ユニコムかつしかでも遅まきながらPRツールとして団体のFBを開設しました。ただ、会員のFB利用者はまだ10人程度。好き嫌いは別にして、教えてと云われたら知りませんでは済まないのがわたしたちの活動です。全員全員がFBのアカウントを持ち、グループで情報を共有するかわら、団体ページからもユニコムかつしかの活動を広く宣伝していったらいいと思います。

テクノプラザかつしか

パソコンステーション

テクノプラザかつしか運営共同事業体からの業務委託で、同施設パソコンステーションでの定期講習会とパソコン活用相談活動を4月より始めました。



定期講習会

はオフィスコースの他に、ネットショップ、パソコン会計など事業向けも含む22種類のコースがあります。活用相談は毎週金曜日の正午、20時まで、来場者の利用相談や操作支援などに対応します。

運営する事業体も初年度なのでお互い試行錯誤しながらのスタートでしたが、今はそれも一段落した状況です。

ここでの活動は、指定管理者としての事業体への評価も関係するので、ユニコムかつしかとしても、これまでの実績を上回ることが使命になります。

4月から7月までは、ほぼ昨年度と同程度ではないかと推測しているところですが、他教室に比べると申込み後のキャンセル率が高いのが今一番の課題です。

現在、下期10月から、パワポでチラシ作り、Facebookを始めよう、など新たなコースを開設しようとして双方で協議を行っていますので乞うご期待。また、地元の利を活かして、施設全体の利用率向上のための施策にも協力していきたいと考えています。

亀有の納涼盆踊り大会に参加

毎年の恒例となっている盆踊りの「うちわ作り」に今年も参加したが、今年は亀有五西町会と亀有東町会の二つの会場に参加した。

7月26日(土)は亀有東町会(場所:亀有公園)で、天気は良かったが、そのかわり猛暑となり、うちわ作りに参加した石本副代表、市村、長谷川、松田、松本の各会員は、汗びっしよりの活躍であった。



【亀有東町会でのうちわ作り】

8月9日(土)は亀有五西町会(東部地域病院北側のアルフレッサ製薬内駐車場)で、この日は台風接近に伴う悪天候が心配された。開催は決まったものの、準備中に雨となり、石本副代表、五十嵐、市村、長谷川、本多、松崎の各会員は、テントからの水漏れ対策に苦労した。しかし、雨のおかげで涼しくなり、雨もやんで賑やかな盆踊りとなった。

「エクセル入門講座」満員の盛況



8月は猛暑のためか、「暮らしを彩るパソコン教室」の受講者は、例月に比べるとやや減少気味であるが、新宿図書館センターの「エクセル入門」は応募者が10人となり、久しぶりの満員となった。パソコン教室の受講者減少はいろいろな要素が考えられているが、エクセルはスマホでは対応できないということがあるのかもしれないし、2013年版Officeの導入、景気の回復なども影響があるのかどうか、今後に希望が持てる展開となりそうである。

お知らせ

- 6月19日、アドバイザーのスキルアップ研修会は、藤倉講師が成果を発表。
- 7月17日のアドバイザー研修会は、大島滋雄会員の開設で「トロット講座」を勉強。
- 7月26日、8月9日、亀有盆踊りのうちわ作りに会員11名が参加、お疲れ様でした。

●ユニコムかつしかへのお問合せは左記まで

Tel 03-6905-8080
FAX 03-6657-6185
E-mail info@uc-knet
Web Site http://uck80.com

向う二軒両隣

横田麻袋店さん

の巻

ユニコムかつしかは、地域のIT普及支援活動を行うかたわら、地域の「盆踊り」や、葛飾区市民活動支援センターで開催されている「コラボかつしかまつり」にも積極的に参加し、地域とのきずなを大切にしながら活動しています。そこで前々号から、立石事務所近くのお店を訪ね、地域の皆様と生活情報を共有しながら、このコーナーを続けていきたいと思っています。

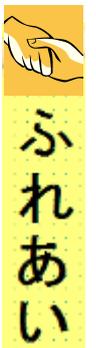
今回のお店は、ユニコムかつしか立石事務所斜め前の「横田麻袋店」(葛飾区立石3-31-6/☎3691-6492)ですが、仕事の内容を紹介するには、麻袋の現状から説明しなければなりません。

麻袋は、現代の日常生活ではほとんど見かけられることはありませんが、コーヒード豆の自家焙煎量り売り専門店では見かけることがあります。かつては穀物運搬や郵便物輸送などで幅広く使われていましたが、現在国内産はなく、コーヒード豆、落花生、モヤシ豆などの輸入袋として国外から入ってくるのみとなりました。昔は多くの麻袋店がありました。葛飾では横田麻袋店のみとなっています。麻袋はエコ素材であるため、ファッション・バッグ、豪雨時の店舗浸水対策用ウオ

ーターゲルや土木用ネジ袋として再利用されています。横田麻袋店の仕事は、輸入豆類の麻袋を裁断し、ウオーターゲル用などの袋に再生しています。ウオーターゲルとは、川のせき止めなどに使われる土嚢と同じ働きのもですが、土嚢は重たく体積もあるため、豪雨時の非常時浸水防止用としては、軽くて運搬しやすい、場所もとらないウオーターゲル入りの麻袋が最適で、ゲリラ豪雨対策用として注目されています。水を吸収すると大きく膨らみ、床が低い店舗などへの浸水を防ぐため注文が増えています。

店主の横田進さんは二代目で、先代が始められたのは六、七十年前、京成電鉄の立体交差に伴う移転までは広い敷地内に麻袋の印刷工場もあったそうです。

現在のお店では、麻袋の需要減少で印刷もなくなり、輸入用の再生加工・販売のみとなっていますが、加工のための裁断と、袋に縫製する作業を行っています。その縫製の時に必要なのが貴重品のマシン「NEW LONG」(写真左)で、現在では製造されていない貴重品が活躍しています。麻袋は、宅急便の送り状が貼れないため、一般での需要は減少していますが、繰り返し再生が可能であり、最終的な焼却処分でも、植物由来の炭素しか排出しないので、エコの優等生として見直されるべきでしょう。



しあわせ過ぎる幸運

うだるような暑さの中、もう何もしたくなく、不用心に日々を過ごしている事も多々ある今日この頃です。電車に乗れば、多くの人達が何の心配もなく居眠りしている。

山に行けば、最高の笑顔で家族たちと、仲間たちと絶景を眺めたり、花々を愛でたり、それぞれ楽しんでる。海もしかり、川もしかり、国民全体が夏休みを満喫しているこの頃です。

そんな今ふうの日々ですが、この地球上のあちらこちらで戦争があり、内戦があり、突然のテロリストで殺戮や誘拐などで混沌としている。ニュースを見れば、世界のあちらこちらで身の危険を感じながら逃げ惑ったり、家族の死、家を破壊され茫然と立ちすくんでいる人達の様子が毎日のように流れてくる。今どんな気持ちで、どんな絶望感の中で生きているのだろうか。

戦争は過去の事で、将来起こるとは思えない程、遠い存在に思える。今の日本では戦争や内乱で自分の人生を変えられたという事も無い。自分の好きな職業に就ける幸運、好きな場所に住める幸運、水道をひねれば清潔な水も出る快適な暮らしが普通にある。そして誰もが「Maid in Japan」は安全で最高の品質と思っている。

外出すれば、電車は時間通りに現れ、高価なA級ワンコインのB級グルメもそれなりに美味しい。お店や宿泊施設に入れば「おもてなし」の心で接待してくれる。こんなに安全で幸せボケの人種でも生きていけるような国は世界で他に存在しているのだろうか、と猛暑の中ぼんやり思っている。

(真田ハル子)

■パソコンクイズ■

8月の問題

様々な文書やデジカメ写真、年賀状など、プリンターで印刷し、手に取ってその出来栄を楽しむ方も多いと思います。プリンター用語にも見慣れないものがたくさんあります。

今月はプリンターを扱う上でよく出てくる用語に関するクイズです。

それぞれのグループの中から仲間はずれの用語を一つずつ選んでお答えください。

どれだか判りますか？

① 「用紙サイズ」

- (a) A4 (b) B5 (c) L版 (d) XL

② 「インクの色」

- (a) ゴールド (b) マゼンタ (c) イエロー

(d) シアン

③ 「印字方式」

- (a) インクジェット (b) 謄写版 (c) レーザー

(d) 熱転写

④ 「用紙種類」

- (a) 普通紙 (b) 写真用紙 (c) ペーパーナイフ

(d) ハガキ

住所・氏名・年齢を明記の上、pc@uc-k.net まで回答をお送り下さい。
※ 8月25日 まで

◆前回の問題と回答◆

パソコン用語は英語表記のものが多く、中でも三文字程度の略語(頭文字)で表記されているものは、意味も分かりづらく初心者には馴染みづらいものですね。今月は略語で表記されるパソコン用語に関するクイズです。

それぞれの用語の中で空欄に入る単語を、選択肢の中から選んで完成させてください。

どれだか判りますか？

① 「USB」(周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格のひとつ) = Universal () Bus

- (a) Speedy (b) Serial (c) Standard (d) Secure
② 「DVD」(データ記録メディアとして利用される光学ディスクの一種) = Digital () Disk

- (a) Video (b) Violet (c) Versatile (d) Version
③ 「CPU」(コンピュータを構成する装置の制御やデータの計算・加工を行う装置) = () Processing Unit

- (a) Control (b) Command (c) Calculating
(d) Central

- ④ 「HD」(内蔵するガラスまたは金属の円盤を高速回転させ情報を記録する装置) = () Disk Drive

- (a) Hard (b) Hybrid (c) High-speed (d) Hyper
【回答】①(b) ②(a) ③(d) ④(a)

【正解者】正解者多数の中から抽選により次の一名の方にUSBメモリーを差し上げます。

足立区にお住いの本田芳子様、おめでとうございます。惜しくも抽選に外れた方は、次回のクイズに挑戦して下さい。応募お待ちしております。

総務担当より

★コピー・サービスは、カラーA4 30円、A3 50円、白黒A4 5円、A3 10円。

★ラミネート加工サービスは、A3 160円、A4 80円、B4 120円、B5 60円、はがき 40円、健康保険証 40円、名刺 40円です。

★ラミネート加工の機械とフィルムはパソコン棚の一番下段に、取扱説明書はパソコン棚の横に差し込んであります。

★毎月のチラシや隔月の機関紙印刷の方法をパソコン棚の横にピン止めしてあります。

★事務所を清潔に！当番は清掃を心がけて下さい。

★事務所の当番については、1カ月に最低2回をお願いします。

会員募集中！

ユニコムかつしかはパソコンを活用した幅広い地域コミュニティ作りを目指しています。パソコンを教えたい人、習いたい人が共に勉強しています。パソコン指導者の養成や、個人レッスン、訪問サポートも行っています。お気軽にご相談ください。会員になると、個人レッスンが一般1時間1,500円から会員1,200円になるなど、割引料金になります。

IT・パソコンのことならユニコムかつしかへ！

- | | |
|---------------|----------------|
| ■講習会 | ■指導者養成講座 |
| ・暮らしを彩るパソコン教室 | ・シニア情報生活アドバイザー |
| ・たつみ憩い交流館講習会 | ■個人レッスン(於:事務所) |
| ・ウェルピア講習会 | ■訪問サポート・訪問レッスン |
| ・白鳥福祉館講習会 | ■Web・機関誌等制作支援 |
| ・えみふるPCサロン | ■ユニコムかつしか交流教室 |
| ■地域 SNS かちねっと | ■日商PC検定講座・試験実施 |

編集後記

今年の4月から始まった「向う三軒両隣」の今回は、立石事務所の斜め前「横田麻袋店」で、店主の横田さんにお話をお伺いした。麻袋について知らないことをいろいろ教えていただいた。

そのうちのひとつが、麻袋はファッション・バッグとして生き残っているそうで、取っ手が傷んだので作り直したいと、麻袋の中古を求めて、わざわざ横田さんを訪ねてきた人がいたそうである。

その話を聞いた数日後、電車に乗る機会があったが、無意識のうちに麻のバッグが目引き付けられた。素敵だと思つと同時に、時節柄、涼しそうであった。エコな素材であることから、多様な再利用が望まれる。(行)